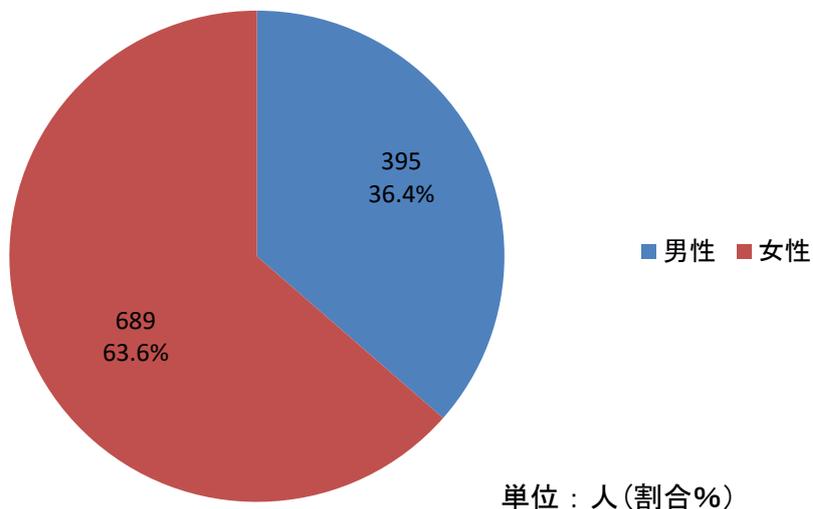


# 第10回eモニターアンケート「女性の再就職について」

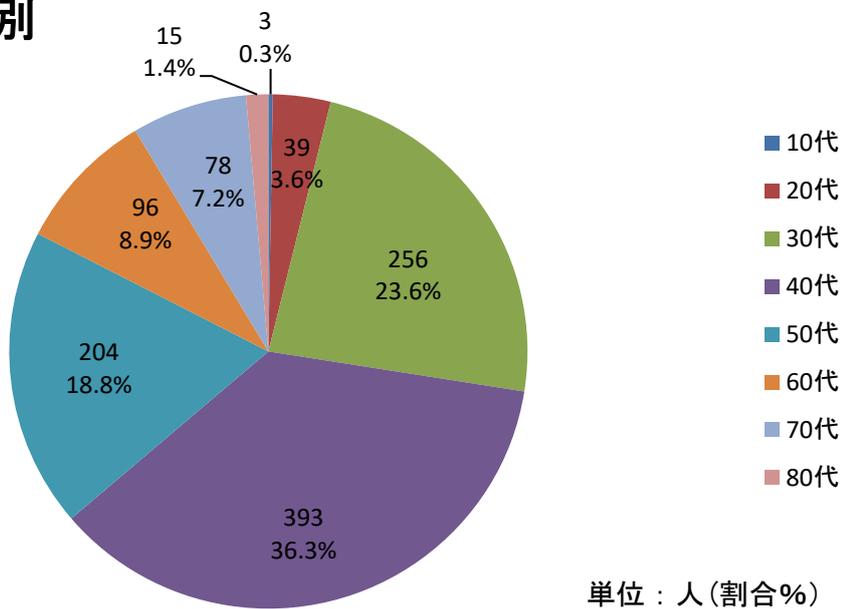
実施期間  
回答数

令和元年12月6日 ~ 令和元年12月13日  
1084 人

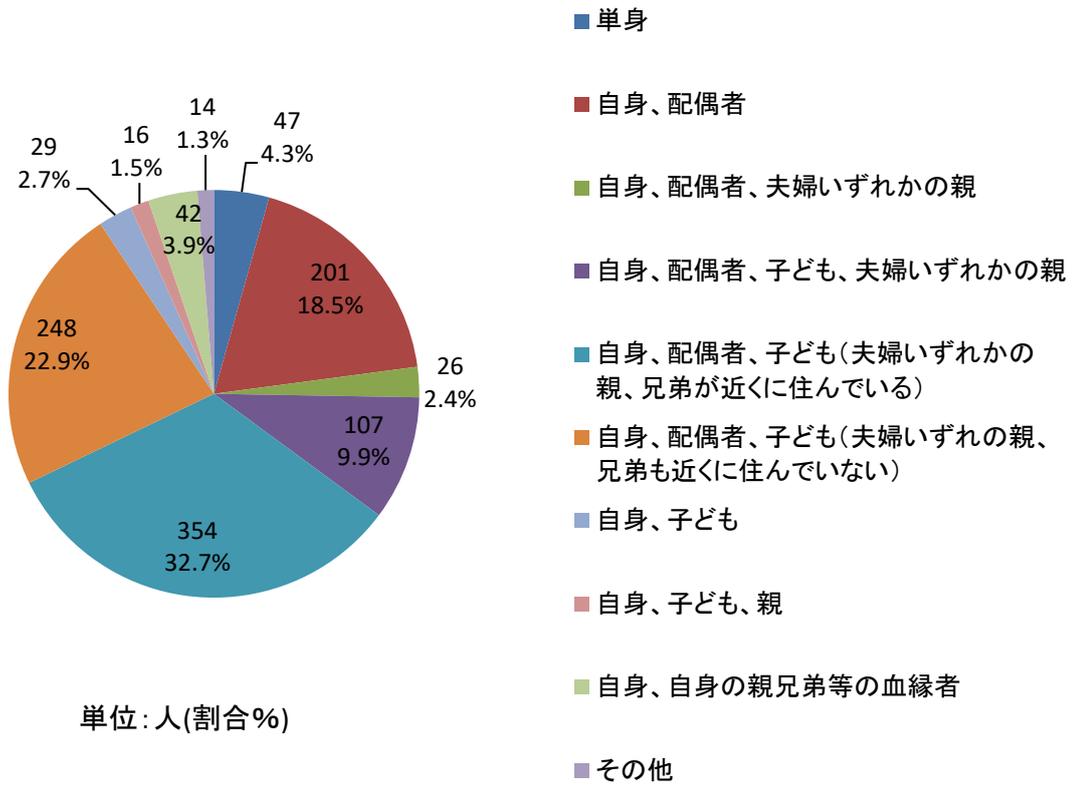
## 性別



## 世代別



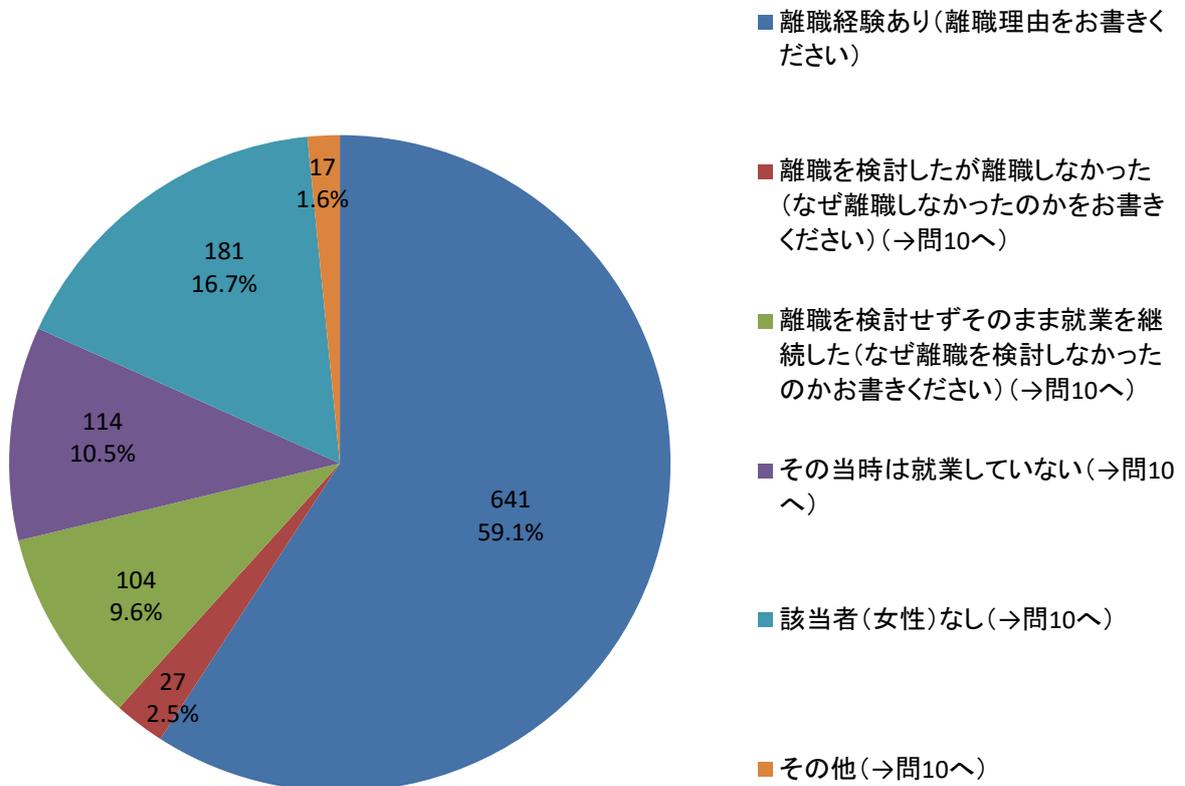
## 問1: 家族形態



### 【その他意見】

- ・ 自身、配偶者、夫婦いずれかの親、自身の親族
- ・ 自身、配偶者、子ども夫婦、孫

## 問2:結婚・出産・育児・介護等による離職経験



単位:人(割合%)

### ●離職経験あり(離職理由)(抜粋)

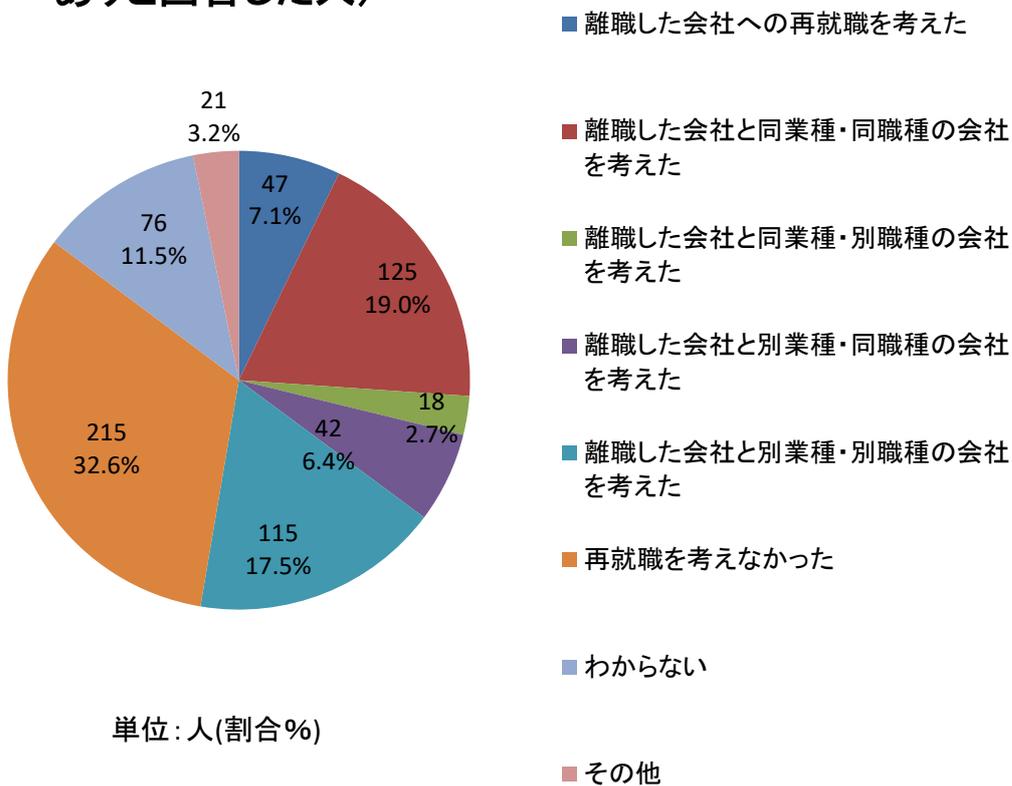
- ・結婚
- ・出産
- ・育児
- ・親の介護
- ・不妊治療
- ・病気
- ・転勤

### ●離職を検討したが離職しなかった(離職しなかった理由)(抜粋)

- ・育児休暇を取得しやすい職場だったため
- ・介護サービスで対応する方法が見つかったから
- ・給料が少なくなるので、離職はあきらめた。
- ・専業主婦には、なりたくなかったので
- ・再就職が困難だから
- ・職場で働き方について配慮してもらえたため。

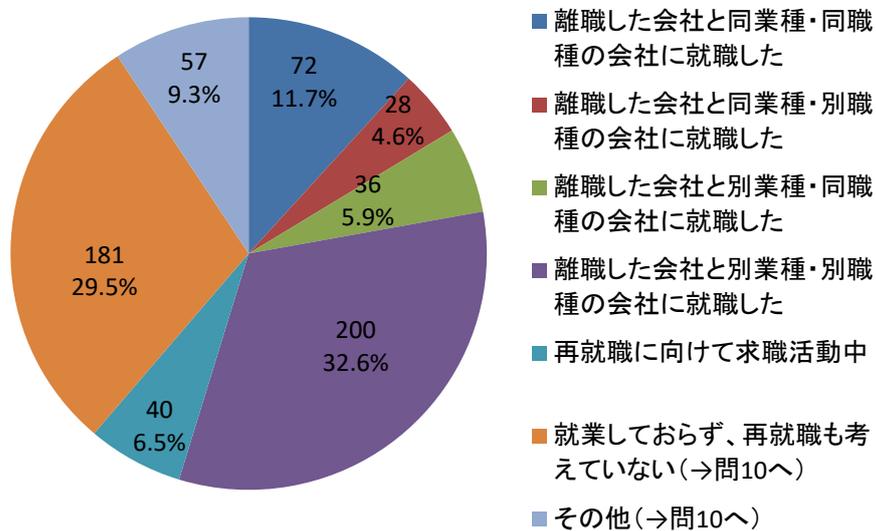
- 離職を検討せずそのまま就業を継続した（離職を検討しなかった理由）（抜粋）
  - ・ 待遇や環境が良かったため継続
  - ・ 離職すると、仕事を復帰したくても正規の職員になるのが難しいという現実があったから。
  - ・ 同居の親が、子どもの面倒を見てくれたから。
  - ・ 主人の収入だけでは生活できないから
  - ・ 今の職場でキャリアアップしたかったから。
  - ・ 自営で自分のペースで働けた
  - ・ 産休、育休制度が整っていたため
  - ・ 生活水準を落とさなくなかったのと、職場が柔軟な働き方の選択ができたのと、生涯賃金で考えたときに桁違いだと知ったから
  - ・ 出産後も産休や育休、時短勤務制度があり、復職しやすい環境だった為
- その他意見（抜粋）
  - ・ 育児を終えてから定年まで就業していました

### 問3: 離職時に再就職を考えたか(問2で離職経験ありと回答した人)



- その他意見（抜粋）
  - ・ 再就職を考えていたが、業種や職種まで考えなかった
  - ・ フリー契約、もしくは起業を考えていた
  - ・ 業種、職種に関係なく自身がやりたいと思う業種、職種を見つけ再就職したいと考えた
  - ・ 子育てが終わったら考える
  - ・ 職種は特にこだわらなかったが、再就職は考えていた

#### 問4: 離職後の再就職(問2で離職経験ありと回答した人)

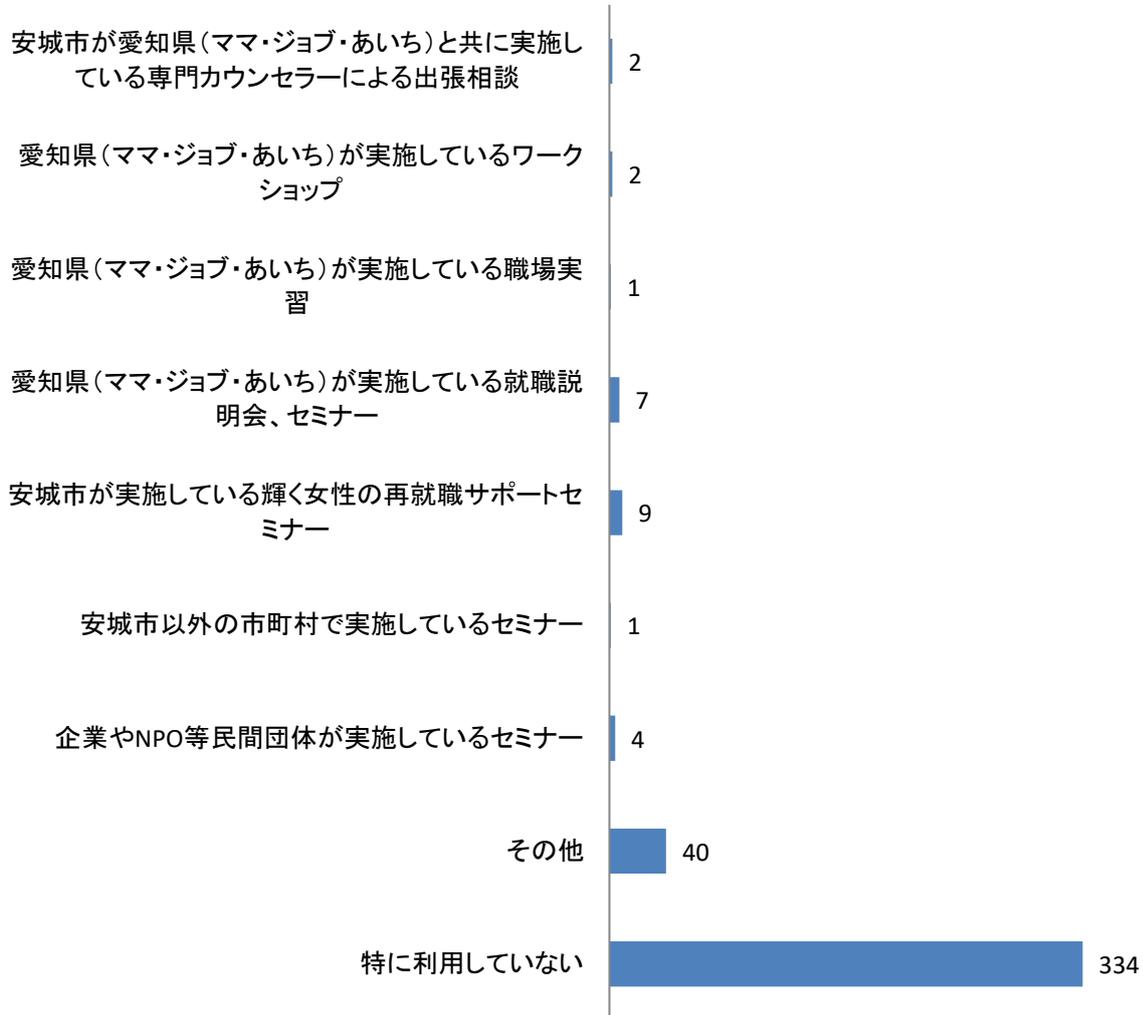


単位：人（割合%）

#### ●その他意見（抜粋）

- ・パート
- ・正社員からパート勤務に転換
- ・自営業
- ・離職した会社でしばらくアルバイト（在宅勤務）した後、起業した

## 問5: 求職活動中に利用した(している) サービス(複数回答)

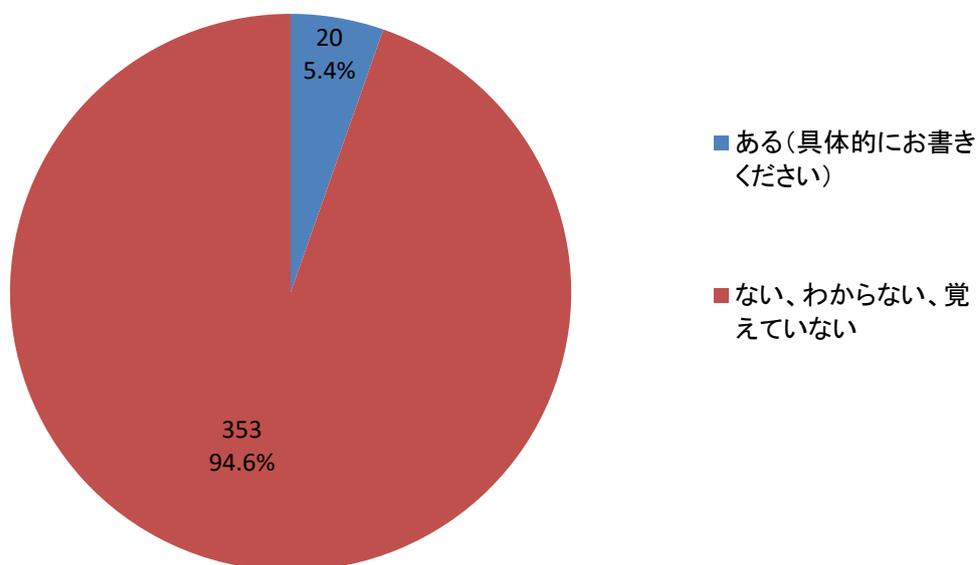


単位：人

### ●その他意見(抜粋)

- ・ 転職エージェント
- ・ 通信制大学で学び、再就職に必要な単位を取得し、登録した。
- ・ 求人サイトのメール会員に登録し、条件に合った情報を得ている。
- ・ 元いた会社の人材バンク会社に登録して派遣
- ・ 求人情報誌
- ・ 民間の求人情報サイト
- ・ ハローワーク
- ・ 女性専用のハローワーク
- ・ 新聞広告

問6: 求職活動時や再就職後に、あれば活用したかった(したい)支援制度(再就職した人、求職活動中の人)

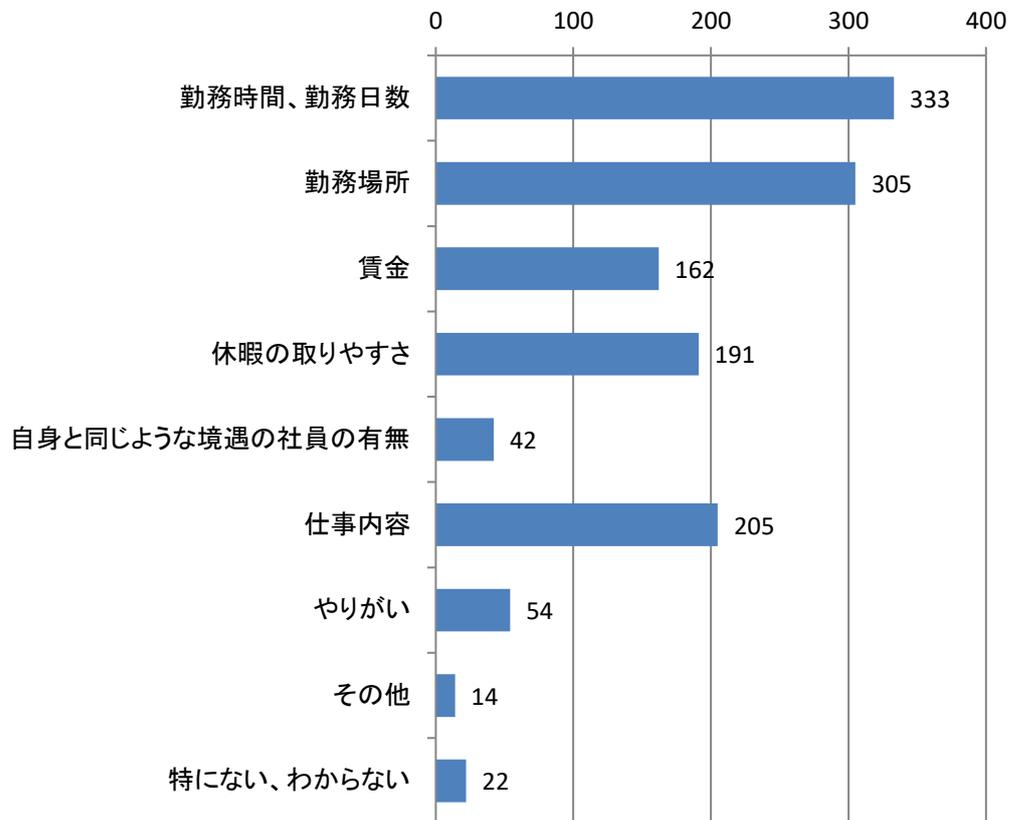


単位：人(割合%)

●活用したかった(したい)支援制度(抜粋)

- ・ 就職説明会
- ・ 託児所
- ・ パソコン講座
- ・ 再就職への心得
- ・ 同種の職業に関する情報をもらえるような支援
- ・ 税の軽減措置。そもそも女性が志望する職種の競争率が高い
- ・ 求職期間中の保育園の入園期間を長く設けて欲しい。1ヶ月では足りなくてかなり苦労した。
- ・ 再就職サポートセミナー
- ・ 相談、職場実習、紹介
- ・ 自治体でできることは限られているので、退職時に企業側の再雇用制度があると良い

問7:再就職先の検討にあたり重視したこと(していること)(複数回答)(再就職した人、求職活動中の人)

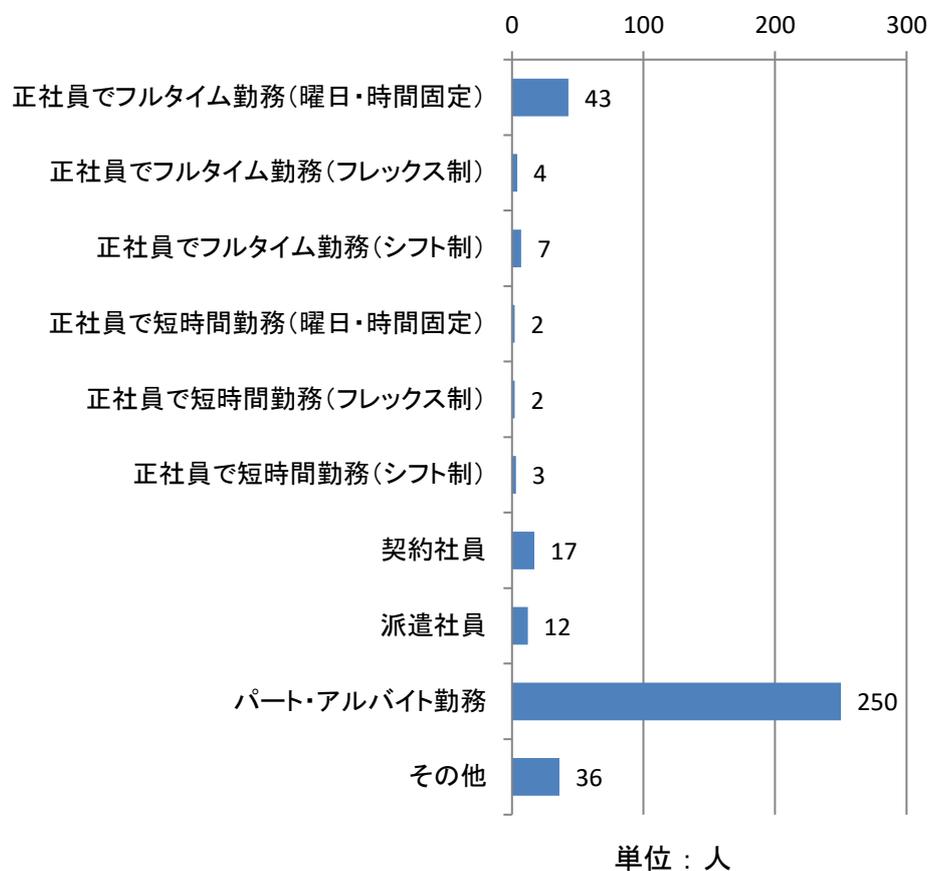


単位：人

●その他意見（抜粋）

- ・就職出来る事を最優先したため縁故採用だった
- ・資格を生かせる
- ・子どもの急病時のお休みの取りやすさ
- ・子育てしやすい仕事
- ・子育てに理解がある会社かどうか
- ・託児が使える（ある）かどうか
- ・正社員
- ・人間関係
- ・福利厚生

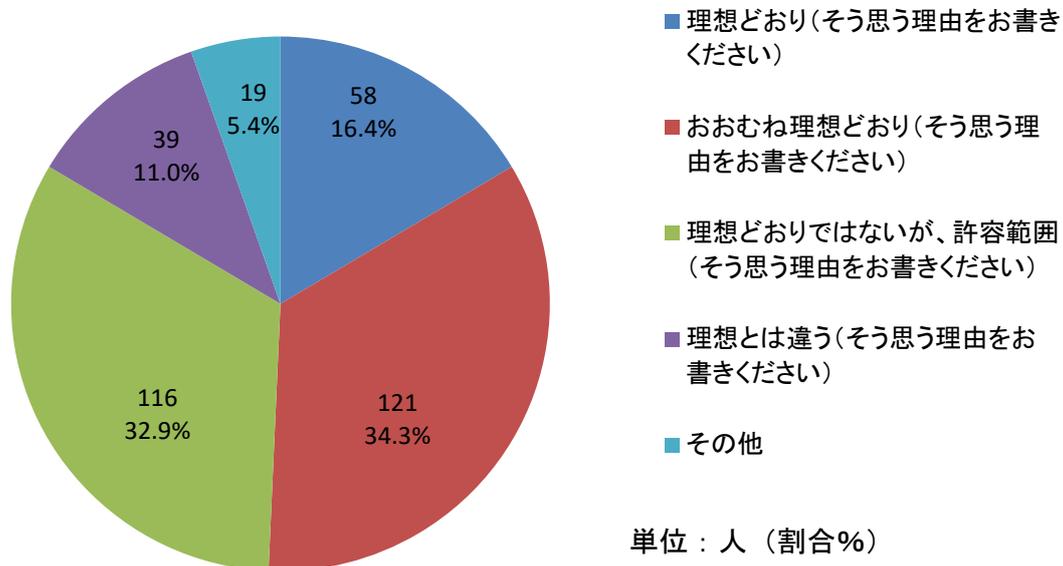
## 問8:現在の就業状況・就業形態(再就職した人)



### 【その他意見】(抜粋)

- ・ 自営
- ・ 非常勤
- ・ フリーランス
- ・ 在宅勤務
- ・ 準社員でフルタイム

## 問9:再就職後の現在の働き方について



### ●理想どおり（理由）（抜粋）

- ・気軽に休める
- ・同業種で経験を生かしているから
- ・当初時短希望だったが、フルフレックスをフル活用してフルタイムで仕事ができる為。
- ・自営なので、自由が効く
- ・家事や育児に影響がない程度で、無理なく働けている
- ・子どもの成長と共に、勤務時間も増やしていったから。
- ・休みがとりやすく、勤務時間も希望通り
- ・パート勤務で主婦も多い職場のため、子どもの急な病気にも柔軟に対応してもらえるから。
- ・子どもの学校行事等に合わせて休みが取れる。上司も同僚も理解がある。
- ・急な休みにも対応してくれるため

### ●おおむね理想どおり（理由）（抜粋）

- ・業務委託契約で、就業時間を自由に決められた
- ・自分の自由な時間に仕事ができている
- ・うちから近く、シフトも希望を聞いてもらえる。若干、時給は安い。
- ・子どもの体調不良の際、休みが取れる
- ・やや希望通りのシフトに入れている
- ・子どものお迎え前には仕事がおわるから
- ・家庭の都合で急な休みもとりやすいこと
- ・やりがいは減ったが、家事育児との両立ができる
- ・フルタイム勤務も経験したが、年齢を重ねた今はこれくらいの勤務時間でちょうどよい。どうしても必要なのに無給の日があるのが不満。
- ・有給休暇もしっかり使えて子どもの病気や行事で休みやすい環境
- ・時間とか精神面ではとても良いが、賃金が少ない
- ・事業者が子どもの体調不良や障害にとっても理解があり休みがとりやすい。

●理想どおりではないが許容範囲（理由）（抜粋）

- ・親の介護があり、自宅から近い所で働けているから
- ・休みがとりづらい
  - ・賃金が安く休暇も少ない。
- ・フルタイム勤務し、退職金も受け取りたいが、家事の事などを考えるとパート勤務でないとやれない部分もあるため
- ・時間が長い 仕事内容が違う
  - ・収入が4分の1になった。
- ・パート社員勤務なので扶養範囲内で働かなくてはならない
- ・希望の職種ではないけれど、勤務体系が合っている為
- ・やりたいこととは異なるが、子育て優先だから仕方ない。
- ・給与的に不足しているから
  - ・勤務日数を増やしたい
- ・年齢が進めば仕事は選べない
  - ・最初の契約と状況が変わってくる
- ・正社員ではないが、今から正社員にはなれないとあきらめている。
- ・完全な再就職ではなく、多忙な時にだけの勤務であったため
- ・正社員として長時間働きたい希望もあるが、子育ても大切にしたいので許容範囲
- ・給与、待遇は良くないが勤務場所が近いので安心感がある。

●理想とは違う（理由）（抜粋）

- ・学童が利用できず子どもに鍵を持たせ留守番時間を作ってしまった。
- ・やりがいがない
  - ・もう少し働きたい
- ・休みや時間の融通を重視したため低賃金と立場の低さ
- ・正社員と同じ仕事でありながら、処遇が異なる。
- ・勤務時間内にできない仕事がたくさんあり、家での残業は通常であった。
- ・元の仕事のスキルが活用できない
- ・待遇が低い。単身かつ女性一人の給与では生活が苦しい。
- ・子どもが小さいと働き方も制限され、発熱等でお迎えするのも母親が当たり前。
- ・子どもの時間に合わせていたので、理想どおりの仕事には就けなかった。
- ・正社員で働きたい
  - ・正社員との格差
- ・やりたいことと仕事内容とのギャップがある。

●その他意見（抜粋）

- ・理想は特にない

問10 女性の再就職に必要なと思う支援(抜粋)

<p>家族を持って働く場合、家族の都合にあわせた時間、休みなどを考えて就職しないといけない。まずは配偶者の協力が不可欠なので、家事、育児を分担するため、配偶者に長時間労働をさせない男性も子育てや家事に積極的に参加できるような体制。</p>
<p>パートナーの理解、絶対に自身かパートナーの親の理解と助け</p>
<p>幼稚園に行きはじめてから、就職しようと思っています。夫の帰りも遅く、周りに頼れる人も友達もいません。なにかあったときに頼れる人はいません。世の中甘くないので、家事、育児そして仕事を一人で行っていく自信がありません。働きたいと思いますが、働ける環境はありません。子育てのグチを言えば働いたらと言われる世の中です。子育て中は立場が弱いですね。周りに助けてくれる人がいたり、職場環境にめぐまれている人は働きやすいと思います。</p>
<p>義父母と一緒に住んでいたから、離職しなかった。子どもの送り迎えをしてくれたし、家に居るのは気詰まりだから、働きたいと思った</p>
<p>本人の働く意欲と、周囲の支援が必要だと思います。夫婦ともに子どもの急病のときには、休暇を取れる優しい環境、家事も分担できるようになるといいです。仕事が一番忙しく、働ける時期と子育て、介護などの時期が重なるので、時間のやりくりをする技術がほしいです。</p>
<p>男性の育児、家事参加。(男性の意識を変える事が大切)女性、男性のフレキシブルな働き方への理解。</p>
<p>家族の協力 家事や介護子育てを手伝うか、手抜き料理に理解を示してもらう</p>
<p>子どもや家族の介護などに配慮した働き方ができる。また、家事分担ができたりする、家族や周りの理解の促進が必要と考える。</p>
<p>再就職後にスムーズに仕事ができるように事前に研修等を行う事。</p>
<p>出産を理由とする退職の場合、再就職の際は半年程度、給与を公費で負担をする。また就職先が決まらない場合も休職手当程度の手当てを支給する。</p>
<p>子どもの件で、突発的に休みを取ることがある為、休みを取りやすい環境が必要</p>
<p>家庭との両立ができる勤務時間、勤務内容が整っていること。</p>
<p>支援は現状で十分だが、親のデイサービスへの送り出し、出迎えや、子どもの学校行事や振替休日等で仕事のシフトを変更することが多すぎるので調整が難しい。</p>
<p>スキルの維持、向上、柔軟な勤務形態、病気の子どもの預かり</p>
<p>子育てが終わった40、50代でも正社員として雇ってくれる環境、風潮</p>
<p>必要とされるスキルや能力に関する情報提供</p>
<p>ブランクは致し方ないので、違う部署でも良いので席を設ける企業努力が必要</p>
<p>派遣など短期でできる仕事から長期の雇用へ移行できると、経験のない仕事にもトライでき、そのまま新しい開拓ができるのではないかとまた講習会を受け、スキルアップできるようにする。</p>
<p>子育て支援、介護支援はあると思うので上手く利用して再就職はできるのではないかと思います。就職してからは企業側との問題だと思います。</p>
<p>1収入上仕方なく働くのか働きたくて働くのかを明確にし、収入上仕方なくの場合、税制上の優遇の措置等があれば働くことをしないはず、そうすれば働きたい人の再就職について大きな支援になる(働く場所が空く)</p>
<p>2保育園や小学校など子どもの時間に合わせられる勤務体系(体調不良などによる突発的な休みも含む)</p>
<p>3女性自身が「自分が女性だから」と考えるのではなく、客観的に自分が提示している勤務条件が企業にとって魅力的かを考える(自分が男性でその条件だと就職できる?)</p>
<p>職場での【いじめ】がないよう教育期間を作って慣れるまで見守って欲しい。市役所が開いている時間・曜日をサラリーマンでも行ける時間に欲しい。</p>
<p>再就職したい人のスキルを、企業側が具体的に分かるように、マッチングできるシステムがあればいい</p>
<p>中小企業では、時短勤務も育児休業も会社と交渉するのは難しかった。新しい他の方を採用して、離職に追い込まれやすい。安城市の病児保育は実用的ではなく、病児の扱いや、保育園の送り迎え、帰ってからの家事に時間の余裕や、子どもに向き合う時間が短い。小学生未満の親の時短勤務を中小企業でも義務付けして欲しい。</p>
<p>子どもの病気など急な休みでもとりやすいことや、学校行事に参加しやすくないと働かない方が多いので、子育てに理解のある会社を集めて紹介してほしい。子どもを連れて仕事を探しに行くのは難しいので、インターネットなどで探しやすい環境があるといいと思います。</p>
<p>託児所を社内におく</p>
<p>公務員と同じように育児出産休暇をとりやすくする</p>
<p>就業可能時間別の斡旋等</p>
<p>企業側は即戦力と考えがちだがそれは無理。企業側の努力が足りない。採用する時にそう期待しているからではなくて、月毎、半年後など期間をもうけて個別面談が必要。</p>
<p>長い育児休暇</p>
<p>再就職に当たり就活をサポートしてくれるコーディネーター。勤務時間や休暇など、代わりに交渉してくれるエージェント。</p>

核家族の子育て支援、働く女性自身に対する各方面の支援（業務の緩和、地域の見守りなど）、女性自身が忙しすぎてメンタルをやられないように。
出勤、退勤時間を定時で縛らず、フレキシブルに本人の都合に合わせることでできる就業環境、および経営者や管理職の理解（最近では男性経営者で理解のある方が増えてきたが、女性経営者・管理職の中に理解の無いケースがある）。
生理休暇必須
まだまだ子育て・家事は女性の仕事という意識が高く、主人も育児休暇の取得を上司に拒否されました。なので、育児、家事をしながらの再就職になる場合が多いので、時短や子どもの体調不良での休みなどがあっても働きやすい、会社や社会への意識改革をする支援をして下さい。時短勤務で正社員を目指したい。
子どもがいる場合は何かと急な事（病気など）が起こるので、あまりにも責任がある仕事や、自分しか解らない仕事がない職場環境がいいと思います。（言い方は悪いが、代わりが常にいる職場）
上司にしても、リーダにしても全体をしっかりと公平に把握して、人間関係で悩むことなく、仕事に集中できるようにまとめてほしい。
妊活中でも、就職できる環境がほしい
時短勤務の推進。しっかり栄養が取れて安価な外食産業の発展。（たとえば海外の屋台のような）
就職が確約されていると、セミナーや研修等も意義あるものと思う。
初日から有給付与してほしい。
不妊治療中は仕事との両立が厳しかった。不妊治療中と言っても、みんなそこまで内容は分からず、身体、精神的負担をなかなか理解してもらえない。もっと周りの理解が必要だと感じます。子どもがいる家庭は、フレキシブル制を導入している会社だと助かる気がします。
採用時の条件が差別されないこと、子どもの状況での勤務形態がスムーズに申告できる職場の提供、企業の対応が柔軟にできる環境が整うこと
正社員でも子どもの成長に合わせて、勤務時間の調整が可能な就職先があるといい。子どもが小さい時は短時間で大きくなったら長時間でも可能になればパートで転々としなくてよくなる。
パートでもなかなか採用してもらえないので、国が積極的に動いてるかもしれませんが、現実には子どもの熱などで休みにくいのが実情です。初心者歓迎の求人票でも落とすなら、そんなこと書かないで欲しい。
子どもの体調不良等、自身のものではない理由による急な欠勤早退遅刻に対する周囲の理解。
事前見学などが出来るか、その職場の動画が見られるとかがあればよりいいと思います
再就職先の情報が整理されていて調べられること。その場所、ネットなどが分かりやすい事。
男性も育児休暇を義務付けする
面接の時に未就学児を預けられなかった。保育園は、就職が決まらないと入園できず、急な面接予定に対応してくれる支援があれば助かっていたと思います。
出産後の場合、子どもの体調や行事などで、遅刻早退欠勤が増えるのを『良し』としてくれる雰囲気が必要。私は『はあ？産休って、会社休むのお？』と言われました。育休は1年間頂きましたが、産休は出産予定日の1週間前まで、電車に乗って勤務しておりました。
再就職先があったとしても、女性が仕事をするのって人間関係でもいろいろ大変だと思います。企業がケアなどをしてくれると、辞めずに続けられる人もいないのでしょうか。
自分は育児を優先しましたので無理のない働き方が出来るパートにしました。なので支援を必要とはあまり感じませんでした。ただ上司があまり理解がない人で嫌な思いをした事があります。
エクセルなどパソコンを使う上でのスキル教育・年齢などでハンディにならない就業規則の設定
各就職先から近い所に設備の整った保育園や幼稚園があるか専用サイト等があるととてもありがたい
結婚して出産したら、継続して仕事していくのは厳しいと思うので、生活が可能であれば子どもがある程度大きくなるまでは就職せずに、主婦業に専念した方が良いと思います。再就職するには、子どもを安心して預けられる施設を充実させる事が一番の支援になると思います。
病児保育等の充実
家事や育児、場合によっては介護サービスを受けられる環境があること
市のベビーシッター派遣、保育士がいる一時預けの場所、定額で使える預け可能の保育士がいる遊び場など
子どもの放課後安心して預けられるサービス
家事、子育て援助 子どもが巣立った50代以降でも働く事ができるような、相談窓口
支援とは違いますが、会社がそういった女性を受け入れざるを得ない状況、例えば障がい者雇用の割合が決まっている様に、女性の再就職も法律で何らかの制約を付けるなど、働きたくても中々採用されないとか聞くので、そういう事があると良いと思う。
女性も働くことが前提になっている現在は、保育所の完備が必要になってくると思います。費用の負担は本人も多少はすべきと思います。
中小企業に就職すると企業の支えが少ないので、公的な支援を充実する事が大事。現在どのような支援が受けられるか告知も必須。それ以外で地域の支えがあれば、それを知らせる事も必要。

<p>セミナー受講時の託児(とても助かりました)。面接時に有料でも託児を利用できると嬉しい(夏だったので初めての0歳児の一時保育が断られそうだったため)それか、そういうことがあると、事前に知りたかった</p>
<p>子どもの預け先の確保。これに尽きる。2ヶ所くらい候補を挙げておかないと仕事はできない。預け先提供の支援が1番大事だと思います。</p>
<p>私は今子育て中なので、特に就職については考えていませんが、下の子どもが幼稚園に行くようになったら日中働きたいと考えています。しかし、子どもが熱を出したり幼稚園などが休みの日だったりした時に休みやすい環境なのか、どのような職種だったら子どもがいても働きやすいのかということに心配しています。また、結婚して安城市に来たので、どのような企業があるのかもわかりません。市外から引っ越してきた女性の再就職のサポートがあると助かります。</p>
<p>あまり詳しくはないのですが主婦のパートタイマーで130万円の壁?などで働く意思を削ぐようなことがあるそうですが、それなら130万円を超えても働く意志を尊重できるような制度が必要では無いでしょうか。</p>
<p>子どもの預かりがまず第一。習い事の送迎もしくは幼稚園での習い事があれば楽。少しくらいの風邪などに対応してもらえること。突発でも休めること</p>
<p>家事サービスの利用。市の情報提供。支援金</p>
<p>資格をとれる講座がもう少し身近な所で開催されるとキャリアアップも出来ていいです。</p>
<p>スキルアップする為のスクール。同じ境遇の人とのコミュニティ。パート・アルバイトの優遇。元の会社への復帰支援。</p>
<p>子育て支援のほかに、家庭内におけるパートナー向けに、家庭参加への気づきとなるような講座。本人向けにライフイベントや子育てで今後必要になるお金とそのためのキャリアを考える講座。</p>
<p>社会復帰するのにブランクが長いと勇気がいると思います。離職して再就職した方の体験が聞けたり、その人に相談できたりなどの機会があればいいかと思います。</p>
<p>短時間、フレックス、休みが取れやすい会社のしくみづくりと、子育ての場合は預かり所の設置を増やす、介護の場合は施設、デイサービスを充実させるなどハード面は絶対必要だが、働き手と保育所や施設をつなぐサポーターがいるとよいと思う。</p>
<p>子どもを預かるシステムやベビーシッター 男の料理教室 介護施設の充実</p>
<p>PCスキル等の習得援助。家庭との両立がしやすく成るようなシステムの確立。世の中の人々の意識改革が進むようなセミナー等の実施</p>
<p>求職期間中の保育園の入園期間を長く設けてほしい。元々名古屋から移住してきたが、名古屋市であれば2、3カ月猶予があるが安城市は1カ月のみ。足りない。</p>
<p>学童の他に、子どもの集まる場所があると安心です。児童センターは、小学生だけで遊べ、先生や大人の目もあって安心です。もう少し遅い時間まで開けて欲しいです。</p>
<p>保育園の申し込みのハードルが高い、職員に根掘り葉掘り聞かれる、気軽に相談できない</p>
<p>税金の優遇(現在は逆行している) 保育施設の充実 在宅勤務</p>
<p>女性が再就職する場合はあらゆる分野の面で支援が必要です。 1 金銭的にゆとりが無い女性 2 子どもの預かり施設 3 市の格安住居</p>
<p>今現在、専業主婦だとしても保育園の預かり保育卒の日数を拡大してくれないと、就職先を探す事が難しい。専業主婦だと、予約1週間前というのも予約が取れないのでやめて欲しい。</p>
<p>高校生、大学生時における女性向けのキャリアプランの教育。その他はハローワークがされているようなことでよいと思います。</p>
<p>市内小学校の5、6年学童保育受付不可の為に再就職どころか人により十年以上勤めた会社を退職する場合がある。土地及び指導者の確保が大変難しいことは十二分に理解していますが安城市のホームページを見ても過去何年も前から前進していない。市は、何か努力しているのか。安城市内で受付可否が有り市民として大変不公平感を感じる。人口19万人、収支73億円黒字なら再就職も大事だが退職回避ももっと大事ではないか。</p>
<p>早退する場合の特別休暇の充実 託児場所の充実 兄弟同じ保育園を約束してほしい 地域で子育てがしたい</p>
<p>女性は結婚すると移住することが少なくないため、市町村単位ではなく県や国がマイナンバーを活用し、女性の職場キャリアとジョブスキルを一元管理し、ハローワーク・各種就職説明会・新聞/雑誌求人情報と結び付けを行い、より希望に近い再就職先を見つけられるような仕組みをマイナンバーと連動して運用することで早い段階でマッチングが可能になります。</p>
<p>子育てで離職した人には、保育園の整備。企業への短時間勤務の義務化。子どもが病気で保育園を休まなければいけない時には休みやすいようにする制度、保障。介護離職の人には、そもそも離職しなくていいような介護制度。長期間の介護休暇と休業補償。企業への再復帰制度。介護離職した人への収入保障。再就職の研修と優遇制度。</p>
<p>子どもを希望通りの保育園に預けられるようにする。育休中に上の子を退園させないといけないのはおかしい。そもそも育児や介護を女性がやらないといけないという風潮を変えなければならないと思う。</p>

<p>女性も働くという世の中の風潮ですが、子どもが小さいうちは、専業主婦でも大丈夫という空気も必要だと思う。母がフルタイムで働いている子がすべて愛情不足とは思いませんが、そういう子も一定数いるとまわりの子ども達を見て感じます。子どもが大きくなり、精神的に安定してからでも、再就職できるような支援が必要だと思う。</p>
<p>障がい児のための支援があると助かります。</p>
<p>難しすぎてわかりませんが、雇う側から言えば他に無い技能、技術、知識を持っていないと雇いにくいと思います。教育実習したり勉強する場が必要ではないでしょうか？</p>
<p>働き方改革といいながら女性には働きにくい社会になっていると思う。</p>
<p>支援の必要なし</p>
<p>あらゆるハラスメントのない環境を整えること</p>
<p>公的な支援は不要。余分な税金を使わないでほしい。民間の方がよほど長けているので民間に任せただ方がよい。</p>
<p>女性側の責任感が必要。中には、社会に甘えすぎている感がある場合があるので。家族の理解と協力。</p>
<p>家族に介護などの必要性ができた時に女性が退職する事を前提として考えてしまう風潮を否定してくれる制度の確立。または、その時に関わる専門家からの指導。</p>
<p>難しい、一人目産んで再就職、二人目ができたから離職、再就職して三人目ができたから離職では企業がかわいそう。</p>
<p>民間企業はいまだに同じ業種でも男性と女性の給与差があります。事務職は特に、同じ仕事に加えて雑務もしているのに、雑務もしない男性の方が多いたは不思議。再就職には、やはり女性も、視野を広く持ち、技量や技能を勉強した上で挑んで欲しいです、主張ばかりではいけないです。</p>
<p>女性自身への支援だけの問題ではないと思う。配偶者の意識、配偶者の会社の対応等々、根本的に変えていかなければならないことは山ほどある。</p>
<p>子どもがいる場合は、保育と労働時間の配慮。女性の再就職という問題を問題にしていること自体が問題。どうせ男の人たちがわかってないのが問題なんだけど、そこに気付いてない。</p>
<p>支援も何も、雇用する企業が必要とする人かそうでないかだけ。必要な人なら雇用される。そもそも企業はボランティアじゃないのに、女性再就職だけみて、不要な人を雇って、結果企業が倒産したらどうするのか？</p>
<p>現在、保育園を利用していますが、フルタイムで働く人には使いづらいと思います。出産を機に近隣の市へ越す方が、「子どもの教育を考えて」安城以外の市を選択しているということ、真摯に受け止めて欲しいです。</p>
<p>私は今逆の立場にいます。出産でスタッフが育児休暇を取っていますが、上司は介護で遅く来て早く帰っていきます。育児休暇のスタッフが戻って来るからと人員を補充されず、休憩も休暇も思うように取れません。このような質問をされると、辛いです。</p>
<p>結婚、出産を機に仕事を辞めるのはもったいないことだと思う。</p>
<p>大卒の就職活動が氷河期で大変だったので、何としても仕事を辞めずに続けてきた。公的な資格を取得していない自分には再就職は難しいと初めからわかっているから、覚悟して働いている。気軽に離職して、再就職が厳しいとか言う人の気は理解できない。支援が必要とは思わない。個人の努力の問題ではないでしょうか。</p>
<p>そもそも再就職が必要なほど世帯収入が必要な今の状況が間違いだと思いませんか。個人の働く、働かないの自由は尊重されるべきですが働かなければ生活出来ないような今の状況では出生数は減りますよ。</p>
<p>再就職して家庭を疎かにする女性が増えている。それに問題はないのだろうかと思う。再就職しなければいけない環境にいる人に対しての支援は必要と思うが、働いていない女性を悪、愚かとするのはおかしい。</p>
<p>家事は女性がやるものという男性の認識を変える支援。男性の自立支援が必要。</p>
<p>再就職しても、子どもに十分な愛情をかけ続けられる方は良いと思いますが、体力的、精神的に疲労し、子どもの面倒をしっかりと見られない方も出てくるかと思えます。すると、子どもの心が満たされず、いじめをしたり、非行などに走ってしまう恐れも発生すると思えます。そういう親子の心のケアをしっかりとあげてほしいと思えます。多くの、心の不安定な子どもが大人になった時に、良い国民、市民になれるとは思えないというのが正直なところです。</p>
<p>社会の意識も改革が必要じゃないですか？日本は社会に出にくい体質だと思うが、日本人の感覚、男が働いて、女が家庭、という固定概念。女性も社会進出といっても、責任者になりたくない、とか簡単な仕事をしたい、だとか、そもそも働きたくない人もたくさんいるのではないだろうか？長い目で小中学校から教育していかないと、本当の女性が参加する成熟した社会は訪れないと思う。</p>
<p>男性の私には見当が付きませんし、男性と女性で再就職の支援を分ける必要性もないと思えます。</p>
<p>結婚、出産を理由に離職をすること自体がおかしい。</p>
<p>質問の答えにはなりません。再就職したくない人もいます。いろんな支援を考えて、みんな再就職しろ、みたいな施策を進めなくてもいいのでは、と思えます。再就職したいという人でも、現実を見ずに給料や勤務形態に高望みしてる人もいますので、市の支援で中途半端な気持ちで就職され、いろいろ優遇される状況があれば職場のモチベーションを下げますよ。</p>